

## ベナン月報(2015年8月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 1日, コトヌ市においてベナン独立55周年を記念する式典が開催され, ヤイ大統領とナイジェリアのブハリ大統領, 日本の城内外務副大臣等が出席した。
- オランダ政府開発援助資金不正使用事件に関し, 国民議会特別委員会でカサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の調査が行われたが, 同委員会報告書は同氏が関与した証拠はなかったとし, 20日, 同氏の議員特権停止案は国民議会において否決された。
- 今年行われた国民議会選挙, 地方選挙で約36億 FCFA の支出超過が判明したことを受け, 18日, CENA は予算執行責任者であるフレディ・ウンベジ委員の予算執行責任者のポストからの解任を発表した。
- ニジェール川が氾濫し, カリママ及びマランヴィル市で深刻な被害をもたらした。

#### 【外政】

- 1日, ベナンを訪問した城内外務副大臣はゾマホン在京ベナン大使と共にヤイ大統領及びアカディリ外相と会談した。
- 18日, ヤイ大統領はパリでオランダ大統領と会談を行い, ボコ・ハラム問題及び環境問題について意見交換を行った。
- 21日, オランダ首相からの書簡がヤイ大統領手渡された。同書簡にはオランダ政府開発援助資金不正使用事件に関するコメント及びヤイ大統領をオランダに招待し, 二国間協力を推進したい旨記されていた。

#### 【経済】

- 13日, ニアメにおいてベナン・ニジェール両国大統領出席のもと, ザンス・ベナン首相, ラフィニ・ニジェール首相及びバラール・ポロレグループ鉄道部長が署名し, ベナンーニアメ間鉄道敷設権協定が締結された。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L'économiste 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 1日, コトヌ市においてベナン独立55周年を記念する式典が開催され, ヤイ大統領とナイジェリアのブハリ大統領, 日本の城内外務副大臣等が出席した。また, ベナン各地で同様の式典が開催された。(3日, La Nation 紙)
- ・ 5日, ヤイ大統領毒殺及びクーデター未遂の疑いでフランスに亡命している実業家タロン氏(M.Patrice TALON)の妻, クロディーヌ夫人(Mme.Claudine TALON)がベナンに帰国した。(6日, Le Matinal 紙)
- ・ 6日, 国民議会で最高裁判所, 恒久電子化選挙人名簿指導監督評議会(COS/LEPI), 国家

情報・自由委員会(CNIL), UEMOA 議会, ECOWAS 議会及び凡アフリカ議会への代表議員がそれぞれ選出された。(7日, La Nation 紙)

- ・ (6日 L' économiste 紙記事)6月に実施されたバカロレア試験において, ベナン国内にある中等教育機関のうち21の中等教育機関では1名も合格者が出なかった。
- ・ 7日, ヤイ大統領はアボメイ・カラビ大学関係者と協議し, キャンパスでの暴力行為の阻止・治安回復を要請, そのための措置として文学・社会学部(FLASH)における2014-15年度追試セッションの実施が合意された。(10日, La Nation 紙)
- ・ (10日各紙記事)7月16日, 憲法裁判所は, 大統領選挙立候補者の年齢制限について規定する憲法26条及び44条に関し, 「2016年内に40歳に達する者であれば年齢制限を満たすものとする。」という判断を下した。
- ・ 10日, ヤイ大統領はカジェウン国際空港を訪れ, 新たに就任した空港職員を激励した。これは, 空港職員の対応の悪さのために職員の総入れ替えが行われたため, 今後空港利用者は特別な電話番号(115及び1155)に電話をし, 対応などに関する苦情を言うことができる。(11日, La Nation 紙)
- ・ 10日, タロン氏とともにヤイ大統領毒殺及びクーデター未遂の疑いで国際手配され, フランスに亡命していたボコ(M.Oliver BOKO)会計士がベナンに帰国した。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, 国民議会特別委員会によるカサ(M.Barthélémy Dahoga KASSA)元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の調査が開始された。(11日, La Nation 紙)
- ・ 11日, 独立国家選挙管理委員会(CENA)は6月28日に行われた地方議会選挙の確定結果を発表した。(12日, La Nation 紙)
- ・ 13日, 国民議会特別委員会によるカサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の調査報告書が提出されたが, 同報告書は同氏の関与の証拠は確認されなかったとした。17日からの臨時国会で同氏の議員特権停止に関し議論が行われる。(14日, La Nation 紙)
- ・ 15日, 全国で警察官採用試験が行われ, 1, 000名の募集に対し18, 772名の応募があった。内1, 264名が女性だった。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 実業家タロン氏によるヤイ大統領毒殺及びクーデター未遂事件に際し, 被疑者5名全員を証拠不十分として予審免訴とした後, 米国に亡命していた裁判官のウス(M.Angelo HOUSSOU)判事がベナンに帰国した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ (17日 Le Matinal 紙記事)アボメイ市役所において, タロン氏の出生届が紛失していることが判明した。これは, 6日にフランスからベナンに帰国していた息子のリオネル・タロン氏(M.Lionel TALON)が自身のパスポート申請のために市役所に問い合わせ, 判明したもの。
- ・ 17日, タロン氏がパリでベナン民放局のインタビューを受けた。インタビューでは, 亡命の経緯や大統領選挙立候補の可能性などについて言及された。(18日, Le Matinal 紙)
- ・ 18日, CENA は予算執行責任者であるフレディ・ウンベジ氏(M.Freddy HOUNGBEDJI/ アドリアン・ウンベジ国民議会議長の息子) 委員の予算執行責任者のポストからの解任を発表し

た。CENAによると、同氏は単独で不透明な会計処理を行っており、多くの記録が欠落していた。(18日, La Nation 紙)

- ・ 19日, CENA は会見を開き, 今年行われた国民議会選挙, 地方選挙で約36億 FCFA の支出超過が発生していたことを発表した。(20日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 在フランス・ベナン総領事館はタロン氏に対し, ベナン入国のためのレセパセを発給した。(21日, Le Matinal 紙)
- ・ 20日, 国民議会においてカサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の議員特権停止案が否決された。(21日, La Nation 紙)
- ・ 20日, CENA 予算執行責任者, フレディ・ウンベジ委員が会見を開き, 36億 FCFA の支出超過は必要な額であり, 政府の非現実的な予算配分の結果であるとした。また, 支出の際には同氏だけでなく委員長や会計担当も署名しており, 同氏単独の判断での支出などあり得ない, と弁明した。(21日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ズー県アボメイ市において, 「パトリス・タロン友好学生運動(Mouvement des Etudiants Amis de Patrice Talon)」をはじめとした若者や同県在住の大学教授, 女性団体らがタロン氏の大統領選出馬支持を表明するセレモニーを開催した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 国民議会において恒久電子化選挙人名簿の地域別更新委員が選定された。委員は77市各2名ずつの154名。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 新たなメンバーで構成されるCOS/LEPIが発足し, 憲法裁判所において宣誓式を行った。(27日, La Nation 紙)

#### 【治安】

- ・ カリママ及びマランヴィル市にニジェール川の氾濫警報が出された。この氾濫により, 稲作の水田をはじめとする田畑が浸水, 家畜や農作物に深刻な被害をもたらした。また, 地域住民の衛生状態の悪化も懸念されている。(17日 La Nation 紙及び20日 Le Matinal 紙記事)
- ・ 7日, コトヌ市でウミガメの甲羅の密売人3名が逮捕された。容疑者はウミガメの甲羅15個を所持していた。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日16時31分頃, コトヌ市及び周辺地域で微弱な地震が発生した。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, ウェメ県アジョウン市の国道上で警察の停止指示に従わず走行を続けた長距離バスに対し警官が発砲, 乗客3名が死亡, 複数名が負傷した。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日深夜1時頃, プラトー県ポベ市において AKM や拳銃で武装した強盗団が現れ, 通行人や長距離バスの乗客から金品を強奪した。被害者の中には複数の重傷者も出ている。(12日, L' économiste 紙)
- ・ 15日, コリーヌ県サバル市の国道で, クチエ(M.Komi KOUCHE) 経済・財務・民営化担当国務大臣の補佐官であるソジャエン氏(M.Corenthin SODJAHIN)が事故により死亡した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, ジュグ市の森林で治安部隊と強盗団による銃撃戦が勃発, 強盗団1名が死亡, 治安

部隊に加勢した地元ハンター1名が重傷を負った。射殺された強盗団の1人は大量の武器弾薬を所持していた。(21日, Le Matinal 紙)

- ・ 25日, コトヌ市役所職員が1人のバイクタクシー運転手に対しタクシー税400FCFAの支払い請求通知を行ったことが発端となり, タクシー税の支払いを拒否するバイクタクシー運転手の暴動が発生, 治安部隊と衝突した。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, トーゴ国境近くのクッフォ県アラフエ市で手作りの36mm式拳銃を所持していた2名が逮捕された。また, 同県では数日前にインド大麻及びニセ札を所持していた2人が逮捕されている。(27日, Le Matinal 紙)

#### 【外政】

- ・ ベナンを訪問した城内外務副大臣はゾマホン在京ベナン大使と共にヤイ大統領及びアカディリ(M.Saliou AKADIRI)外相と会談し, 国際社会における日・ベナン二国間関係, 日本のベナンにおける経済協力及び来年の TICAD アフリカ開催等について意見交換を行った。(4日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 2日, ベナン独立記念の祝賀行事として, 中国四川省成都市の歌劇団がコトヌ市国際会議場において舞台を行い, ザンス(M.Lionel ZINSOU)首相他2名の現職大臣及びタオ(M. Mingsheng DIAO)駐ベナン中国大使が出席した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 5日, 塚原大使はウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)国民議会議長を表敬し, 日・ベナン関係や政府の汚職撲滅に関して意見交換を行った。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 紛争後地域における不発弾処理センター(CPAD)で日・UNDP パートナーシップ基金により購入された車両の引渡及び事務棟起工式が行われ, 塚原大使, アザンデ(M.Placide AZANDE)内務・公安・宗務大臣等が出席した。(7日, La Nation 紙)
- ・ 17日, コトヌ市アザライホテルにおいて, ABE イニシアティブにより日本に旅立つ2名の研修生の壮行会が行われた。(18日, La Nation 紙)
- ・ 18日, ヤイ大統領はパリでオランダ大統領と会談を行い, ボコ・ハラム問題及び環境問題について意見交換を行った。(19日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 中国は家族・社会問題・国家連帯・障害者・高齢者省に対し, 2,000万FCFAの小切手を贈与した。この贈与はジェンダー問題に関連する暴力防止プログラムに活用される。(21日, La Nation 紙)
- ・ 21日, 駐ベナン蘭大使は同国首相からの書簡をヤイ大統領に手交した。同書簡にはオランダ政府開発援助資金不正使用事件に対するヤイ大統領の対応に感謝する旨, 関係者に対し, 一刻も早い法的責任の追及が必要である旨, ヤイ大統領をオランダに招待し, 二国間協力を推進したい旨記されていた。(24日, La Nation 紙)
- ・ 22日, 2015-2016年度の中国国費留学生の壮行会が開催され, 約20名のベナン人学生に対し合格証及び中国への往復航空券が贈呈された。(24日, La Nation 紙)
- ・ 28日, 米国は米海軍のチームを派遣し, ベナン警察に対する国境管理テロ対策に関わる1

か月間の研修を開始した。(31日, La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ (7月31日)チャウル市ゾーン病院及び複数の保健センター建設のため, クチェ大臣はクウェート政府からの110億 FCFA の借款契約に署名した。(3日, La Nation 紙)
- ・ アラダ市に工場及び展示場を持つベナンの木材会社 ATC-IB 社長アリ・イジャジ氏(M.Fadi ALI HIJAZI)の招きにより, 複数のジャーナリストが同社取材した。同社は400人強の従業員で年間約700m<sup>3</sup>のベナン産木材を生産・販売しており, 家具などへの加工・販売も行っている。(7日, La Nation 紙)
- ・ 7日, コトヌ港に2015-16年度の綿花農業のための肥料11,000トンが到着し, ナンスン(M.Rufin Orou Nan NANSOUNON)農業・畜産・漁業大臣が引き渡し式に出席した。(10日, L' économiste 紙)
- ・ (13日 L' économiste 紙記事)国家政治経済委員会の発表によると, 2015年四半期終了時点でのベナン対外債務は昨年末の9509億 FCFA から1兆751億 FCFA に, 対内債務は1983億 FCFA から2468億 FCFA に増加した。
- ・ 13日, ニアメにおいてベナン・ニジェール両国大統領出席のもと, ザンス(M.Lionel ZINSOU)ベナン首相, ラフィニ(M.Brigi RAFINI)ニジェール首相及びバラール(M.Thierry Ballard)ポロレグループ鉄道部長が署名し, ベナン-ニアメ間鉄道敷設権協定が締結された。(17日, L' économiste 紙)
- ・ 8月のFAO食料価格指数によると, ベナンは昨年と比べ19.4%食糧価格が下落している。(18日, La Nation 紙)
- ・ 17日, ベナン政府は公式に2015-16年度綿花産業に対する22億 FCFA の補助金の支出の開始を発表した。今年度は50万トンの生産を見込んでいる。(19日, L' économiste 紙)
- ・